

2019年漁期 するめいか漁獲可能量(TAC)案について

(単位:万トン)

魚種	系群	資源状態		ABC <sup>(注)</sup>				TAC				備考
		水準	動向	2016年漁期	2017年漁期	2018年漁期	2019年漁期	2016年漁期	2017年漁期	2018年漁期	2019年漁期(案)	
するめいか	<p>【中期的管理方針】                      本資源は減少傾向にあるが、これは海洋環境の変化に伴う再生産環境の悪化によると考えられ、短期的には減少傾向を緩和し、中期的には環境が改善された場合に資源を速やかに増大できるよう親魚量を確保することを基本方向とする。                      ただし、本資源は、大韓民国等と我が国の水域にまたがって分布し、外国漁船によっても採捕が行われており我が国のみの管理では限界があることから、関係国との協調した管理に向けた取組が行えるよう努めつつ、管理を行うものとする。</p>											
	冬季発生	低位	減少	21.5	6.9	3.1	1.8					<p>【2019年TAC設定の考え方】                      以下の考えに基づき算定された系群のABCの合計値と同数をTACとする。</p> <p>(冬季発生系群)                      「親魚量の増大」シナリオで算定したABCのLimit(1.8万トン)</p> <p>(秋季発生系群)                      「親魚量の増大」シナリオで算定したABCのLimit(4.9万トン)</p>
	秋季発生	中位	減少	20.5	15.6	12.9	4.9					
合計				42.0 (25.6)	22.5 (13.6)	16.0 (9.7)	6.7 (6.7)	25.6	13.6	9.7	6.7	

注)下段括弧内は、日本EEZ分として算定したものの値。

【資源評価結果】

(単位:万トン)

	資源の状態		親魚量の状態	漁獲シナリオ <sup>(注)</sup> (管理基準)	ABC (2019年漁期)		参 考	
	水準	動向			親魚量 (2018年)	Blimit (親魚量)		
冬季発生系群	低位	減少	<Blimit	①親魚量の増大 (B/Blimit × Fmed) (Frec)	Target	1.1	5.7 (1.8億尾)	16.4 (5.3億尾)
					Limit	1.4		
秋季発生系群	中位	減少	<Blimit	②親魚量の増大 (5年でBlimitへ回復) (Frec5yr)	Target	1.4	31.7 (11.3億尾)	42.4 (15.1億尾)
					Limit	1.8		
					Target	3.1		
					Limit	3.8		
				①親魚量の増大 (5年でBlimitへ回復) (Frec5yr)	Target	3.9		
				②親魚量の増大 (B/Blimit × Fmed) (Frec)	Limit	4.9		

注)中期的管理方針に合致するシナリオを記載。